



78
號6573

會議

二七日

臨時會議
此限ニ非ズ

刻限

辰ノ刻着到
辰ノ半刻議
事ヲ始ム

當院官員

大原長官

神田判官
安岡判官

大津權判官
伊達權判官

出仕
赤松大三郎

庚午集議院日誌第一

○三月十七日

集議院開院被 仰出候ニ付諸藩議負來ル四月
中可罷出事

庚午

三月

別紙口達覺

昨年中差出候議負ノ内ニハ藩政ニ預カラザル
者或ハ東京定住藩廳ノ事務ヲ不取扱者等有之

趣右ハ藩論御採聽ノ御趣意貫徹不致不都合ノ
事ニ候此度議院御開相成候ニ付テハ兼々被仰
出候通藩政向篤ト相心得候者ヲ選舉シ藩論洞
徹實地適用ノ議事相立候様厚ク相心得可申事
○四月廿九日

安岡禪正大忠

任集議院判官

石
宣下候事

庚午
四月

太政官

○五月四日

本日新議員百八十九名參集ノ事

○同月八日

伊達和歌嶽權左事

任集議院權判官

宣下候事

庚午
五月

太政官

伊達和歌山藩權參事

叙正六位

右

宣下候事

庚午五月

太政官

○

兵部省出仕
赤松大三郎

集議院御用掛兼勤被 仰付候事

庚午

五月廿八日

○同月十二日

二見集議院權判官

轉任少史

○

本日議員參集百九十六名集議院規則 = 付見込

建言 北垣大巡察出席

○同月廿五日

来 廿八日開院被 仰出候事

庚午
五月

太政官

○同月廿七日

本日第十字議負一同參 朝於大廣間

天顏拜禮被 仰付候事

但席順左ノ如シ

大藩ヲ先トシ中藩ヲ次トシ小藩ヲ後トス

藩同等ナレハ正官ヲ先トシ權官ヲ後トス

同官ナレハ宣下ノ先後ヲ以テ

○同月廿八日

本日開院ニ付三條右大臣岩倉大納言德大寺大
納言大久保參議廣澤參議副島參議佐々木參議
土方中辨長松少辨○九條彈正尹岸良彈正大巡
察○中山神祇伯有栖川兵部卿正親町刑部卿澤
外務卿松平大學別當東久世開拓長官堀川皇后
亮清水宮内少丞列席議負二百十九名出頭長官
御沙汰書ヲ宣讀ス
御沙汰書寫

今般開院ニ付テハ昨年詔書ノ趣ヲ遵守シ愈以

公平協議 聖旨ニ可奉答候事

五月 庚午

太政官

右大臣御下問ヲ被渡長官之ヲ受テ大津權判官
讀之

御下問寫

一藩分為三現米十五萬石以上ヲ大トシ五萬石

以上ヲ中トシ以下ヲ小トスル事

一石高實數ヲ以テ稱スヘキ事

但石八兩相場ヲ以テ雜税金現石高ニ結フ

ヘキ事

一藩廳

知事

大參事

不過二人

權大參事

有無其便宜ニ從テ小藩ハ之ヲ置カズ

少參事

不過五人

權少參事

以上掌見職員令

有無其便宜ニ從テ小藩ハ之ヲ置カス

大属

權大属

少属

權少属

史生

以上分課專務スル所アルニ譬ヘハ民

政會計軍事刑法學校掛ノ類ノ如シ

右大中小藩ニ從テ官負多寡アルハニ先藩々

適宜ニ任スル事

藩掌

使部

一藩高

警

現米十萬石

内十分

一萬石知事家祿

殘

九萬石

內五分一

一萬八千石

海陸軍費

殘

七萬二千石

公廨諸費士族卒家祿

官祿藩々適宜ニ任マヘキ事

一功有テ祿ヲ増シ罪有テ死ニ處スヘキ事

朝裁ヲ請フヘシ一時賞并流以下ノ刑ハ收録

シ毎年五月可差出事

一士卒二等ノ外別ニ級アルヘカラサル事

一正權大參事ノ中一人在京集議院開院ノ節即

議負タリ交代ハ藩ノ便宜ニ因ルヘキ事

但公用人名目廢止ノ事

一公用人ノ稱呼ヲ廢シ其事務ノ大小ニヨリ或

參事或ハ大屬等ニテ用辨ヲ爲サシムル事

一知事朝集三年一度年々四季ニ分チ滯京三ヶ

月ヲ期トス國家重大ノ事件ニ因リ朝集ハ此
限ニアラス

一 歲入歲出明細書ヲ以テ翌年五月限可差出事

一 從前藩債ハ一藩ノ石高ニ關スル事ニ自十分

ノ一ハ家祿ヲ以テ償ヒ其余ハ公辭ヨリ可出

事

一 從來私造ノ紙幣往幾年ヲ以テ引替濟ノ目的

ヲ定メ一ヶ年毎ニ引替高明細書可差出事

家人職負

家令 一人負

家扶 一人負

家從 同

家丁 同

庚午
五月

右畢テ列席ノ官員一同退院マ

本日入札シ幹事十二名ヲ公選ス

充選姓名左ノ如シ

服部清三郎

坂田 芳

有竹

裕

毛 凌

洪

新宮竹間 依田朝宗 善野 司 增田 貢
 近藤幸止 妻木 務 中澤見作 香川真一
 本日開院 = 付議負并 = 院中官負 ~ 御酒肴下賜
 候事

議負到著無之分

清	津	仙	名	議
末	和	臺	古	負
和	野	岩	屋	到
歌	林	寄	櫛	著
山	田	丸	良	無
高	生	岡	田	之
松	坂	舞	原	分
小	成	鶴	本	
松	羽	豐	今	
千	廣	岡	尾	
束	島		小	
	新		諸	
	田			

日出 大村 赤穂 鹿兒嶋 三 戶
 石岡 森

總二十七藩

官版御用

御彫刻所

神田旅籠町丁目

竹口瀧三郎

御書物所

本町四丁目

紀伊國屋源兵衛

宮城縣用

明治三年六月

集議院

明治三年庚午六月

集議院日誌 第二



定價三匁五分

宮城縣用

會題

大原身守

當到百員

春林大五郎

大野新次郎

中田清吉

會議

二七日

臨時會議
此限ニ非ス

刻限

辰ノ刻着到
辰ノ半刻議
事ヲ始メ

當院官員

大原長官

神田判官
安岡判官

大津權判官
伊達權判官

赤松大三郎
出任

集議院日誌第三

○六月二日

五月廿五日御下問條中ノ義ニ付伺書ヲ依朝廷

ニ上ル

同書寫

第一條

一從前草高萬石以上ヲ藩ト稱スルノ例ニ從ヒ

現石萬石以下ト雖モ藩ト稱スベキ事ト奉存

候

第二條

一 石高實數ヲ以テ稱スルニ村高ハ從前ノ草高
ニテ差置相成候儀ト奉存候

第三條

一 少參事 日 藩ノ總務日參判ニ側一課ヲ分掌スル藩々ノ
適宜ニ任スヘキ儀ト奉存候

一 大属以下位階府縣同等ト奉存候

一 藩掌ハ士族ノ任使部ハ卒ノ任ト奉存候

一 大參事ヨリ藩掌迄ハ政廳ノ官負ノニテ其
餘隊長以下ノ職負學校教頭助教等或ハ地方
小吏ノ類階級ハ藩々ノ適宜ニ可被任儀ト奉
存候

第四條

一 五分一海陸軍費ハ藩ニ備置出兵其外平日操
練器械并ニ一切ノ用途相辨シ候儀ト奉存候
但從來ノ軍資金ハ相止ニ候儀ト奉存候

第六條

一代増祿ノ類モ 朝裁ヲ可請儀ト奉存候

第七條

士卒ノ家祿ハ藩々ノ適宜ニテ等級ハ二等ノ外無之儀ト奉存候

右ノ通相心得可然哉奉伺候

庚午六月

長官

○

御附札寫

第三條

總務ニ參判スルハ大參事ノ職ニシテ少參事

ハ各分掌參判スル所アルヘキ事

隊長以下ノ職員并ニ學校教授等ハ兵部省大

學ニ於テ御規則御一定ノ上被仰出候間當

分従前ノ儘可相心得事

第四條

海軍ハ朝廷ニ於テ一途御振張可相成ニ付

五分ノ一半高ヲ 朝廷ノ海軍ニ備ヘ半高ヲ

藩ノ陸軍ニ備ヘキ御目的ノ事
凡右ノ御趣意ニ付衆議可及事
其餘條々伺之通

○同月九日

士卒家祿ノ儀ニ付猶疑惑ノ説アリ故ニ再々別
條トシテ之ヲ伺フ
士卒家祿ノ儀ハ如何ノ御目途ニ御座候哉相
伺申候

庚午六月

長官

○

御附札寫

平均或ハ凡幾分ヲ以テ公解ニ充幾分ヲ以テ
家祿ニ充或ハ便宜ニ從フ等孰レカ可孰レカ
否衆議ノ處被ニ聞召候上御決定可相成候事

○同月十二日

本日議員二百二十二人集會五月廿八日ノ御下
問ヲ答議々土方中辨稻津禪正權大忠玉手禪正
大巡察出席○出石藩知事鳥羽藩知事湯長谷藩

知事父内藤從五位參聽ス評論不終日暮ニ及ブ
明日ヲ期シテ罷ム

○同月十三日

本日議員百九十七人集會昨日ノ答議ヲ續ク土
方中辨出席○出石藩知事鳥羽藩知事峰山藩知
知事又京極從五位其外參聽ノ面々例席ニ坐ス
第三字答議了リ一同退院ス

十四箇條共異論無之向

熊本 佐賀 柳河 津山 郡山 松本

芝村 龜田 堀江 烏山 岩槻 西大路

泉 鶴牧 大泉 豊橋 西尾 大垣

館林 姫路 吉見

各條評論有之向

第一條

彦根 福井 小濱 松代 豊岡 田原

八戸 七戸 伊勢崎 下館 長岡 岸和田

伯太

第二條

金澤	廣島	久保田	高田	宇和嶋	高寄
富山	大聖寺	龜山	矢島	丸龜	上田
真葛	岡田	古河	柴山	八戸	三春
唐津	野村	大溝	福知山	郡上	大洲
鞠山	棚倉	庭瀬	高梁	村松	壬生
本庄	七戸	龍野	伊勢崎	岡	新宮
清寄	二本松				
第三條					
金澤	福岡	廣島	津	彦根	久保田

米澤	高田	福山	大聖寺	忍	中村
鞠山	明石	淀	中津	巖原	富山
岡崎	籍江	三春	黒羽	唐津	足利
篠山	高遠	須坂	龍岡	岩村田	柳本
岩村	龜山	土浦	笠間	佐伯	栢原
野村	大溝	福知山	尼ヶ寄	森	松嶺
人吉	大洲	大野	加知山	西端	足守
高須	小城	西條	薦野	丸龜	三根山
椎谷	三日市	一ノ宮	鹿島	湯長谷	山形

磐城平	母里	伊勢崎	神戶	蓮池	安中	勝山	島原	高寄
田邊	櫻井	園部	山家	福江	佐野	村上	佐土原	上田
秋月	小田原	平戸	黒石	飯野	小野	高富	三草	真嶋
新宮	杵築	一ノ關	大網	龍野	大田原	吉田	山上	岡田
白杵	三日月	廣瀬	柳生	高鷲	七日市	六ッ浦	天童	古河
飢肥	安志	犬山	西大平	高槻	鳥羽	新谷	吹上	紫山

第四條	赤穂	桐倉	小泉	千束	久居	龜岡	村岡
金澤	飯山	庭瀬	桑名	新庄	長島	麻田	官津
静岡	松代	高梁	小見川	山崎	鴨方	下館	宮川
福岡		村松	長岡	三田	府内	出石	延岡
廣島		壬生	岸和田	川谷	浅尾	丹南	峰山
鳥取		本庄	伯太	與板	重原	牛久	二本松
山口							

津	岡山	德島	高知	彦根	水戸
米澤	佐倉	福山	福井	小濱	中津
宇和嶋	新發田	巖原	松江	久留米	豊津
久保田	高田	富山	大聖寺	前橋	明石
鯖江	高鍋	足利	長尾	篠山	高遠
須坂	龍岡	岩村田	森	柳本	岩村
佐伯	飯山	尼ヶ寄	郡上	松嶺	人吉
大洲	中村	鞠山	花房	加知山	西端
嶋原	佐土原	山上	小城	天島	薦野

丸亀	高須	三草	吹上	龜山	萩山中
多度津	上山	佐貫	天童	土浦	關宿
笠間	古河	結城	淺尾	小見川	多古
生實	谷田部	志筑	下館	下妻	宍戸
松岡	守山	高岡	三根山	椎谷	三日市
山形	小幡	一宮	鹿島	湯長谷	館山
久留里	今治	高寄	上田	真嶋	岡田
柴山	西條	太田原	吉田	新谷	安中
小野	高富	六ッ浦	岡	平戸	一關

蓮池	飯野	大多喜	七ノ戸	龍野	高嶋
高槻	黒石	沼田	新見	成羽	小久保
大網	柳生	神戸	山家	伊勢崎	廣瀬
犬山	七日市	鳥羽	福江	三日月	新宮
宮津	亀岡	小田原	水口	白杵	半原
麻田	千束	安志	清寄	宮川	出石
新庄	磐城平	飢肥	延岡	丹南	山寄
田邊	村岡	峰山	牛久	鶴田	秋月
膳所	二本松	府内	母里	杵築	三田

刈谷	宇都宮	長岡	岸和田	伯太	棚倉
庭瀬	高梁	村松	壬生	本庄	豊浦
徳山	岩國	菊間	赤穂	麻生	淀
櫻井	佐野	豊岡	田原	三春	
第五條					
金澤	彦根	大聖寺	小濱	忍	高田
富山	前橋	棚倉	庭瀬	高梁	村松
壬生	七ノ戸	高槻	沼田	小久保	伊勢崎
大網	神戸	西本	鳥羽	三池	廣瀬

犬山	七日市	鶴舞	綾部	新宮	川越
宮津	二本松	龜岡	丹南	川谷	苗木
與板	小見川	長岡	岸留	伯太	龜山
佐貫	九龜	高崎	上田	真島	岡田
古河	紫山	加知山	高須	高鍋	長尾
福知山	郡上	笠間	菊間	櫻井	一宮
豐岡	田原				
第六條					
淀	廣島	巖原	山口	鳥取	高知

久保田	金澤	高田	富山	大聖寺	伊勢崎
平戸	棚倉	庭瀬	高梁	村松	壬生
本庄	豊浦	徳山	岩國	高須	篠山
中村	松代	一宮			
第七條					
米澤	福山	福井	津	巖原	小濱
廣島	福岡	久留米	久保田	彦根	龜山
薦野	丸龜	山形	館山	久留里	今治
加知山	小幡	三日月	新宮	白杵	龍野

沼田	新見	成羽	西太平	伊勢崎	岡
平戸	新谷	安中	小野	吉田	飢肥
村岡	秋月	膳所	宮津	半原	宮川
龜岡	出石	淺尾	杵筑	三田	小見川
長岡	岸和田	伯太	本庄	明石	岡寄
黒羽	唐津	高鍋	長尾	篠山	高遠
須坂	龍岡	岩村田	柳本	岩村	佐伯
飯山	松嶺	大洲	大野	中村	鞠山
豊岡	田原	高田	富山	大野	山

第八條

福山	巖原	天嶋	高寄	上田	真島
岡田	古河	紫山	高遠	須坂	龍岡
岩村田	伊勢崎	延岡	赤穂	柳本	岩村
第九條					
定	岡寄	鯖江	伊勢崎	赤穂	高遠
須坂	龍岡	岩村田	柳本	岩村	
第十條					
新發	山形	高須	小幡	新見	成羽

大細	柳生	伊勢崎	岡	平戸	小野
唐津	高遠	須坂	龍岡	岩村田	柳本
岩村	三春				

第十一條

巖原	大洲	七ノ戸	伊勢崎	平戸	新庄
----	----	-----	-----	----	----

第十二條

高知	鳥取	山口	彦根	豊津	忍
前橋	明石	八戸	郡上	鞠山	大洲
七ノ戸	西大平	新谷	安中	千束	新宮

第十三條

膳所	與板	小見川	長岡	岸和田	伯太
豊浦	徳山	岩國	牛久	蓮池	福江
一ノ宮					

第十三條

高知	山口	鳥取	福岡	廣島	彦根
徳島	久留米	岡山	豊津	小濱	松江
福山	忍	岡寄	唐津	高鍋	篠山
佐伯	栢原	柳本	郡上	大洲	中村
鞠山	小野	吉田	三日月	黒石	沼田

第十四條

山家	平戸	一關	岡	廣瀬	犬山
七日市	鳥羽	豊浦	安志	田邊	磐城平
新宮	白杵	徳山	清寄	秋月	宮津
峰山	亀岡	岩國	出石	丹南	山崎
鶴田	母里	長岡	岸留	伯太	矢島
薦野	丸亀	山形	高寄	上田	真嶋
岡田	古河	紫山	西條	延岡	三春
八戸	豊岡	田原	米澤	六浦	村岡

廣島 高鍋 龜山 野村 大溝 西大平
 丹南

別條

熊本	津山	宇和島	松代	徳島	大泉
柳河	佐倉	中津	新發田	勝山	西尾
西條	小城	村上	土浦	關宿	麻生
佐土原	三草	山上	天童	吹上	龜山
笠間	矢嶋	一宮	鹿嶋	湯長谷	高寄
上田	真島	岡田	古河	紫山	西端

嶋原	高嶋	廣瀬	蓮池	福江	飯野
山家	佐野	三池	鶴舞	綾部	水口
秋月	半原	延岡	松本	二本松	府内
新庄	山寄	鶴田	高岡	龜田	堀江
杆築	三田	苗木	烏山	吉見	桑名
谷田部	岩槻	泉	西大路	鶴救	豊槁
鯖江	黒羽	尼ヶ寄			

臨時規則

○

一御用多_二付當分二七ノ外四九ノ日集會可致事

一當分朝八字無遅々參集可致事

一不參ノ向ハ第十二字限無遅延斷書面院掌_江可差出事

庚午六月

長官

○

○同月十七日

本日議員二百十四人集會ス長松少辨出席各條

逐次推論可否ヲ決ス

○

第一條 第八條 第九條 第十條 第十一條

第十四條

右六ヶ條衆議ニ從ヒ可ト決シ別說一條相添可奉拜答候事

第八條別說

一大參事交代ノ制立サレハ議負東京定住ノ

弊コレアルヘキ事

真嶋

庚午六月

長官

右終テ第三字一同退院

○

到著無之藩

和歌山 鹿兒島 高松 仙臺 檜羅 生坂

森 清永 田原本 石岡 今尾 小松

斗南 岩崎 舞鶴

○

此外猶各條可否ノ決議アリ次卷ニ出ツ

○校正

第一卷御下問中ニ但公用人稱呼トアルハ公
議人稱呼ノ誤ナリ

官版御用

御彫刻所

神田旅籠町二丁目

竹口瀧三郎

御書物所

本町四丁目

紀伊國屋源兵衛

明治三年 庚午 自六月 至七月
集議院 日誌 第三



定價二匁

官效齋用

崎浪渡河

林田於嘉慶二十日

山口兼三卿

崎浪渡河

本國四月

後野國皇親丸齋

會議

二七ノ日

臨時會議
此限ニ非ズ

刻限

辰ノ刻着到
辰ノ半刻議
事ヲ始ム

當院官員

大原長官

神田判官
安岡判官

大津權判官
伊達權判官

出仕
赤松大三郎

集議院日誌第三

○六月十九日

本日議員二百十三人集會ス土方中辨出席出石
藩知事參聽議事同前第三字一同退院

○ 第二條

衆議ニ從ヒ可ト決シ別說ニ條相添可奉拜答候
事

別説

一五ヶ年平均現石實數ヲ以テ称スルト御
改コレアリ度事

三春

一八両相場ノ儀後來物價大異變アラハ御改
定コレアリ度事

○六龜山野村 人吉

庚午六月

長官

建白取扱規則左之通御改正被 仰出候事

先般待詔局被為開卑賤之者ニ至ル迄御為筋ノ
儀獻言可致様御布令相成候ニ付追々存付申出
候就テハ重大ノ事件ハ 上裁ヲ經夫々御取捨
相成候得共諸官省府縣限ニテ可否決定可相成
程ノ事件申出候族ハ待詔局ニ於テ一應尋問ノ
上石建白書へ局印ヲ押シ集議院ヨリ諸官省及
府縣へ可相廻候右ハ言路洞開下情壅蔽無之様
ト御旨趣致貫徹候様可取計旨被 仰出候事

庚午六月

太政官

○同月廿二日

本日議員二百人集會ス土方中辨出席出石藩知事參聽議事同前第三字一同退院

第三條

權大參事

有無其便宜ニ從フ小藩ハ正權ヲ合セテ三人

ニ過キス

衆議ニ從ヒ右之通相決シ別說三條相添可奉拜
答候事

別說

一御定規ハ御下問通ニテ可然權大參事無之
テ不相叶向ハ願ノ上差許サレ度事

高鍋

一大屬以下官員ノ數モ略御定メ有之度事

龜岡

一藩掌ハ廳掌ト御改有之度事

菊間

庚午六月

長官

第五條

衆議ニ從ヒ可ト決シ別說一條相添可奉拜答候事

別說

一大數ハ上ヨリ御定メニ相成細目ハ各藩便

宜ニ御任セ有之度事

龜山	三池	笠間	下館	加知山	神戸
綾部	鶴舞	小見川	与板	亀岡	宮津
高鍋	小久保	西大平	川越	小濱	大綱
大多喜	金澤	高田	長尾	富山	棚倉
庭瀬	高梁	村松	壬生		

庚午六月

長官

○六月廿四日

本日議員二百一人集會出石藩知事參聽議事同

前第四字退院

第六條 第七條

右二ヶ條可ト決シ可奉拜答候事

康平六月

長官

○六月廿七日

議員二百人集會江藤中辨出席出石藩知事塔川少史等參聽幹事六名ヲ入札公選シ舊幹事六名ト交代ス充選姓名左ノ如シ

津田山三郎 大久保文隣 田丸謙藏 廣瀬桐江

丹羽淳太郎 栗山誠一郎

右終テ御下問第四條ヲ議ス十字ヨリ五字ニ至リ議不決第五字半一同退院

○六月廿九日

議員百九十六名集會第四條ヲ續議ス第十字ヨリ第五字ニ至ル衆議難纏結局藩情異同左之通一御下問通無異論藩々

鹿嶋 湯長谷 松江 加知山 菰野 亀山
淀 篠山 七戸 金澤 高田 富山

膳所	久居	西尾	高鍋	岸留	長尾	郡上	黒石	高梁
柳川	桑名	舉母	唐津	伯太	半原	西端	小久保	大壘寺
泉	勝山	弘前	松本	久留里	花房	館山	柳生	村松
大野	村上	姫路	大垣	丸岡	福井	神戸	櫻井	壬生
下妻	川越	笠間	津山	水口	彦根	日出	延岡	庭瀬
中津	熊本	小諸	加納	野村	長岡	西大平	菊間	志筑

三池	林田	黒羽	館	豊津	龍野	岩槻	綾部	吹上
千束	高取	黒川	福知山	烏山	八戸	西大路	郡山	小城
高槻	高德	松代	名古屋	亀田	堀江	豊橋	大溝	天童
徳島	鶴舞	吉見	長島	栢原	岡崎	鶴牧	大野	山上
佐土原	小泉	柴村	苗木	鴨方	忍	宇和島	府内	島原
三草	足守	飯田	中村	与板	一宮	津和野	谷田部	館林

母里 今治 津 岡山 宮津

一當分八分一餘往々本數ニ從フ見込之藩々

福山 峰山 尼ヶ崎

一當分十分一往々本數ニ從フ見込之藩々

三日市 丸龜 豊岡 牛久 水戸 土浦

關宿 古河 森 麻生 小見川 多古

生實 下館 宍戸 守山 佐倉 高岡

三春 飯山 田邊 磐城平 蓮池 福江

飯野 人吉 園部 淺尾 吉田 二本松

一ノ關 鞠山 小濱 田原 山形 刈谷

丹南 新庄 松嶺 麻田 宮川 赤穂

沼田 高崎 福岡 宇都宮 重原 西條

村岡 久保田 本庄 杵築 三田 六浦

新谷 安中 大洲 伊勢崎 前橋 三根山

結城 松岡 佐伯 山家 岡 柴山

安志 小幡 鯖江 小田原 臼杵 新見

成羽 清崎 足利 佐野 鳥羽 七日市

廣瀬 犬山 高須 矢島 平戸 明石

佐賀 静岡 山口 鳥取 豊浦 徳山
岩國 清末 推谷

一 當分十五分一漸々本數ニ從フ見込之藩々

新宮 山崎 高島 秋月 畠 石岡 大村

一 當分廿分一往々本數ニ從フ見込之藩々

米澤 岩村 萩 佐貫 大綱 高遠

龍岡 須坂 岩村田 高知 柳本 新發田

多度津 小野 上山

先ッ軍資金ヲ海軍ニ供シ藩治整フヲ待テ本

數ニ從フ藩々

真島 岡田 上田 三日月 鶴田

一 目今差出ス目途無之注々本數ニ從フ藩々

龜岡 出石 大田原 棚倉 高富 大泉

廣島 嚴原

一 永世七八分ノ見込之藩

飫肥

○七月二日

集義院日誌三

議頁百九十名集會出石藩知事鳥羽藩知事參聽
第十三條ヲ議ス第四字退院
第十三條異論無之向多分ニ付可ト決シ別說五
條相添可奉拜答候事

別說

一 現行紙幣此儘差置キ官ノ楮幣御引替濟ノ
上御處置有之方可然

津

三月

鶴田

一 當分此儘差置楮幣廢止ノ處置精々取調被

仰付タシ

山口

鳥取

高知

豊浦

徳山

岩國

清未

臼杵

一 小貨幣ヲ頒布シ然後藩ノ楮幣ヲ引換サレ

ハ民間融通差支ユヘシ

小濱

豊岡

栢原

西條

田原

一 紙幣モ藩債ノ類ニ付十分一ハ知事家祿ノ
内ヨリ引替候方可然

松本

高鍋

一官幣頒布足ラサルカ故ニ藩ノ紙幣ヲ廢ス
レハ民間ノ便宜ヲ失ハシ

延岡

到着無之藩

檜羅 生坂 田原本 今尾 高松 仙臺

岩崎 森 斗南 和歌山

総十藩

此外猶各條可否ノ決議アリ次巻ニ出ツ

官版御用

御彫刻所

神田旅籠町二丁目

竹口瀧三郎

本町四丁目

御書物所

紀伊國屋源兵衛

讀書家物

本館印

讀書家物

本館印

讀書家物

